

(再評価)

資 料 4

令和2年度第1回  
関東地方整備局  
事業評価監視委員会

## 一括審議案件資料

- (1) 一般国道16号 保土ヶ谷バイパス(Ⅱ期)
- (2) 一般国道52号 上石田改良

令和2年7月30日

国土交通省 関東地方整備局

令和2(2020)年度 第1回 事業評価監視委員会 一括審議案件一覧

事業区分	事業名	再評価理由 ※1	事業採択 前評価	全体 事業費 (億円)	完成予 定年度 ※2	B/C	前回評価からの主な変更点及 び理由	再評価の視点	関係自治体の意見	前回評価時の付帯意見及び対応	対応 方針 (原案)
道路	1 一般国道16号 保土ヶ谷バイパス (Ⅱ期)	⑤	H14 H29	約643	R6	1.5	事業期間の軽微な変更はあるが、前回評価から事業全体に大きな変更は生じていない。	本事業は、交通渋滞の緩和、物流効率化の支援、生活環境の改善等の観点から、事業の必要性・重要性は高く、早期の効果発現を図ることが適切である。	(東京都知事からの意見) 本事業は、国道16号や並行する町田街道の渋滞緩和に資する重要な事業である。このため、必要な財源を確保し、早期完成に向け、事業を推進されたい。 さらに、事業実施にあたっては、コスト縮減を図るなど、より効率的な事業推進に努めること。	なし	継続
	2 一般国道52号 上石田改良	⑤	H8 H28	約138	R5	1.1	事業期間の軽微な変更はあるが、前回評価から事業全体に大きな変更は生じていない。	本事業は交通混雑の緩和、安全性の向上、沿道環境の改善の観点から、事業の必要性・重要性は高く、早期の効果発現を図ることが適切である。	(山梨県知事からの意見) 一般国道52号は、甲府都市圏の重要な幹線道路に位置付けられており、上石田改良の整備については、交通混雑の緩和、安全性の向上、沿道環境の改善などが期待されることから、非常に必要性が高い事業である。 このうち2工区(荒川橋から甲府南アルプス線(通称アルプス通り)までは、4車線開通により、渋滞緩和や歩行空間確保など一定の成果が得られている。 しかし、残区間の未整備によりアルプス通りにて、国道52号(現道)と2工区の交差点が近接するため、クランク交通や直進交通などが輻輳状態にある。このため、事業効果を最大限に発揮すべく、引き続き、残区間の早期完成に努めていただきたい。	なし	継続

※1 再評価理由

- ①: 事業採択後3年間が経過した時点で未着工の事業
- ②: 事業採択後5年間が経過した時点で継続中の事業
- ③: 準備・計画段階で3年間が経過している事業
- ④: 再評価実施後5年間が経過している事業
- ⑤: 社会情勢の急激な変化、技術革新等により再評価の実施の必要が生じた事業

※2 費用便益比算定上設定した完成予定年度等。

※3 前回評価時において実施した費用便益分析の要因に変化が見られないことから、前回評価の費用便益分析の結果を用いている。計算条件に用いた事業期間は、前回評価時の結果を用いているため、完成予定年度と異なる場合がある。

# (1)一般国道16号保土ヶ谷バイパス(Ⅱ期)

## 1. 目的

- ・交通渋滞の緩和
- ・物流効率化の支援
- ・生活環境の改善

## 2. 事業概要

区 間：自)東京都町田市鶴間  
至)東京都町田市鶴間

計画延長・幅員：2.1km・21.0m(本線部)  
38.0m~63.0m(一般部)

車 線 数：4車線(本線部)、4車線(一般部)

計 画 交 通 量：48,000台/日

事 業 化：平成14年度

全 体 事 業 費：約643億円

## 3. 事業の進捗状況等

- ・平成28年4月本線開通、平成31年3月ランプ開通
  - ・一般部の車道舗装及び歩道整備等工事を推進中
  - ・全線開通後の交通状況を踏まえた一般部施工計画の見直しにより、事業期間を4年延伸(令和6年度)
- ※社会情勢について大きな変化は見られない

## 4. 事業の効果等

- ・一般部及び並行する幹線道路の交通量が約2割減少(本線部へ交通が転換)。
- ・交通の転換に伴い、周辺道路の死傷事故が減少し、交通安全性が向上。

## 5. 事業の投資効率性

【事業全体】	(前回)	(今回)
総便益B	1,262億円	1,412億円
総費用C	687億円	924億円
B/C	1.8	1.5

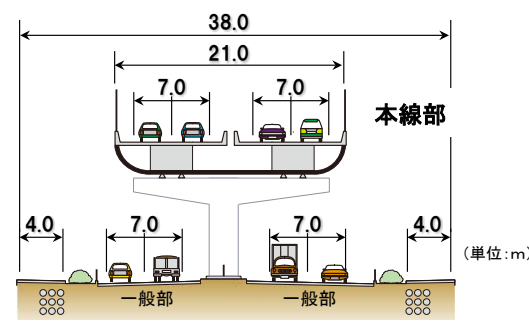
## 6. 概要図



### 位置図



### 標準横断面図



## 7. 対応方針(原案)

- ・事業継続する。
- ・本事業は、交通渋滞の緩和、物流効率化の支援、生活環境の改善等の観点から、事業の必要性・重要性は高く、早期の効果発現を図ることが適切である。

# (2)一般国道52号 上石田改良

## 1. 目的

- ・交通渋滞の緩和及び交通安全性の向上
- ・道路整備に伴う沿道環境の改善

## 2. 事業概要

区 間 : 自)山梨県甲府市富竹一丁目  
やまなしけん こうふし とみたけ1ちょうめ  
 至)山梨県甲府市寿町  
やまなしけん こうふし ことぶきちょう

計画延長・幅員 : 1.0km、22.0m

車 線 数 : 4車線

計画交通量 : 23,100~25,600台/日

事業化 : 平成8年度

事業費 : 約138億円

## 3. 事業の進捗状況等

- ・平成26年4月に2工区が4車線開通。1工区において平成24年から用地取得を推進しており、全線開通を目指して整備を推進。
  - ・甲府市への用地買収事務委託により、用地取得の目処が立ったことから事業期間を3年延伸(令和5年度)。
- ※社会情勢等に大きな変化が見られない。

## 4. 事業の効果等

- ・現道から交通が転換し、交通混雑の解消、交通事故減少が見込まれる。
- ・十分な歩行空間による沿道環境の改善

## 5. 事業の投資効率性

【事業全体】	(前回)	(今回)	【残事業】	(今回)
総便益B:	189億円	223億円	B:	188億円
総費用C:	175億円	212億円	C:	8.9億円
B/C=	1.1	1.1	B/C=	21.0

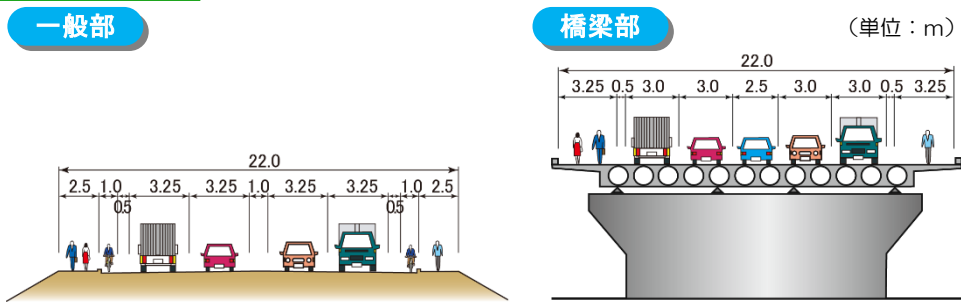
【基準値(平成28年度)】全体事業費:約138億円

## 6. 概略図

### 平面図



### 標準横断面図



## 7. 対策方針(原案)

- ・事業継続とする。
- ・本事業は交通混雑の緩和、安全性の向上、沿道環境の改善の観点から、事業の必要性・重要性は高く、早期の効果発現を図ることが適切である。